

AGS1

超々微粒子超硬合金

自社の粉末製造/焼結技術を応用した
高硬度・高強度を有する超々微粒子超硬合金

物性

材質名	硬度 Hv (HRA)	抗折力 GPa	破壊靱性 MPa·m ^{1/2}	TAS ^{※4} 分類記号	JIS ^{※4} 分類記号
AGS1	2180 ^{※1} (95.0)	3.7 ^{※2}	6.5 ^{※3}	VF-10	Z01

※1: HRAはピッカース硬度からの換算値

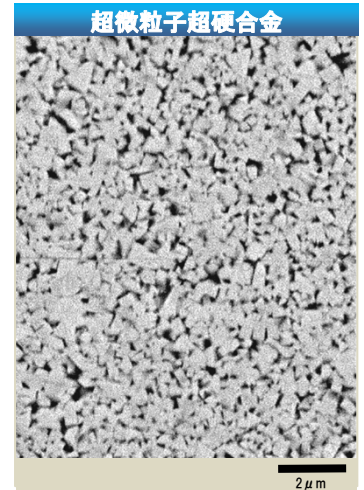
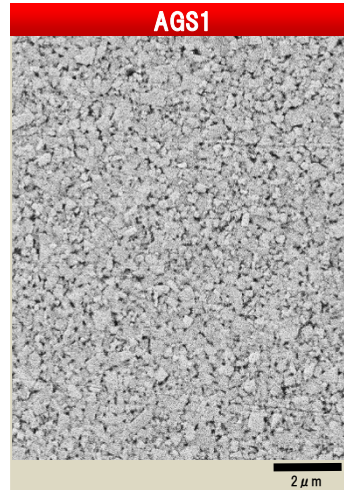
上記値は代表値

※2: HIP処理後の値

※3: ピッカース圧痕法による測定

※4: TAS分類記号はTAS 7000-2017、JIS分類記号はJIS B4053-1989に基づく

組織



詳細

高硬度・高強度
耐摩耗性

耐食性

被膜密着性

刃立ち性
面粗さ

I. 高硬度、高強度、耐摩耗性

- ▶ トーカロイ素材の中で最も高い硬度を実現し、最も優れた耐摩耗性を発揮。
- ▶ 他社製超々微粒子超硬合金と比較し、高硬度・高強度を両立。

II. 耐食性

- ▶ 結合相の改善/最適化により、優れた耐食性を有する。

III. 被膜密着性

- ▶ 超々微粒子で構成される基材表面の良好な面粗さに加え、高硬度かつ高ヤング率である事により、コーティング被膜との優れた密着性を確保。

IV. 刃立ち性、面粗さ

超々微粒子超硬合金「AGS1」だからこそ可能な
 シャープエッジ(刃立ち性)と滑り性(面粗さ)

- ▶ 高度な刃立ち性が要求される金属箔やフィルム切断等の用途向けに、超々微粒子の構成を最適化し、従来種より優れた「シャープエッジ」を実現。
- ▶ 曲げ/絞り加工、粉末成形用途において、重要な「高硬度・高圧縮強度」とワンランク上の「面粗さ」を両立。

